

公表

事業所における自己評価結果

事業所名	アジュール若草				公表日 2025年 3月 15日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	6	0	・適正(事業所設立登録における) ・年齢(学年)に応じて部屋を分けたり過ごせるようしている。	・児童発達児の未就学児と就学児とを限りあるスペースの部屋で、混在して指導しているので、さらに改善の余地があると考えている。
	2 利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	0	・事業所内職員待機数、送迎車(2名)等、安全運営をおこなえている。 ・児童指導員(シフト)等、適正人数である。	・適正。安全面含め継続をすること。
	3 生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	0	・玄関/扉/洗面/トイレ等、案内表示や動作絵貼り。 ・防炎カーペット、バリアフリー室内、柱・机角等にスポンジ貼付け、幼児にも配慮。	・経年変化による点検と交換を継続。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	0	・毎日清掃(トイレや洗面所、玄関等)と点検(ウレタンスポンジが捲れていないか等)。 ・スペースをつくって様々な活動。それ以上は最寄りの小規模か所での利用」アリまオ	
	5 必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	6	0	・体調面や他都合における環境(部屋)あり。 ・個別に応じて対応できている。 ・職員が一緒にいる等。	・利用者様側が遠慮せず使える環境を継続して提供すること。 ・生徒自身が言いにくい場合も職員の気配り(声掛け+)
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	6	0	・全員参加と確認にて参画。	・月の会議や研修時のみならず、日々の連絡と報告の徹底を行う。
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・日々改善の努力。 ・業務における全員確認と都度の連絡。	・全員参加と理解の徹底。
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	6	0	・全職員での意見取りまとめ。	・全職員同士の意見交換と取りまとめができる為、引き続き継続を行うこと。
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	0	・こども家庭庁、県、市町村役場等。 ・最寄り事業所との関係やアドバイスなど。	・都度改善
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	0	・各庁からの情報落とし込み等。 ・研修受講や参加研修など。	・毎年確認と参加(受講含む)。
適切な支援の提	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	6	0	・専門員作成、公表、全員確認等。 ・日々における課題記録。	・正しく作成、公表を継続すること。
	12 個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	6	0	・実施している。	・研修で再アセスメントの重要性を理解したため活用進行中。
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	6	0	・全職員への担当員からの聞き込み(記録)。 ・共有記録からの	・支援会議で全員の意見をヒアリングしている。
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	0	・全職員への担当員からの聞き込み(記録)。 ・共有記録からの	・情報を共有しているが、支援計画で具体的に反映させることはまだ不十分で改善が必要と考える。
	15 子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	0	・全職員への担当員からの聞き込み(記録)。 ・共有記録からの	・観察及び分析の実施はしているが不十分で改善中。
	16 放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	6	0	・十分ではないが設定している。	・未就学児の場合は本人支援と家族支援の比率が多い。
	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	6	0	・全員の児童指導員との連携で作成している。	・季節や行事を踏まえ年間活動計画を立案。
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	6	0	・全員の児童指導員の意見を取り入れ工夫している。	・開設1年目で、季節や行事を踏まえ年間活動計画を立案したが、利用者様からは費用がかからないようにとの要望もあり、限定的なプログラムはいがぬない。

供 應	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	6	0	・子どもひとりひとりの療育に応じ、個別の課題と集団での協調性・適応課題を支援計画に入っています。	
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	6	0	・朝のミーティングを行い、利用者の様子や本日の支援プログラム、役割分担や支援方法など、共有と確認している。	
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	6	0	・送迎後の活動終了後もミーティングを行い、利用者の様子や特記事項、反省点などを共有している。	
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	6	0	・連絡帳などの個別記録を作成し支援の検証・改善につなげている	
	23 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	6	0	・半年ごとに相談支援員とも連携し見直しや検討を実施している。	
	24 放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	5	1	・自立支援、創作活動、地域交流、余暇の提供と概ねできているが、地域交流などは学校休日になるため少し少ない。	
	25 子どもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	6	0	・療育活動で、自分の要望や毛一定することを取り入れている。	
関係機関や保護者との連携	26 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	6	0	・自発管など児童指導員などが出席している。	
	27 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	6	0	・。関係機関との連携をはかっている。	
	28 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	6	0	・学校との連絡・情報共有は日常実施している。	
	29 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	6	0	・関係機関との連携をはかっている。	
	30 学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	6	0	・関係機関への情報提供と連携をはかっている。	
	31 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	6	0	・支援センターの相談員とは常に連携し、センター主催の研修にも必ず参加している。	
	32 放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他の子どもと活動する機会があるか。	6	0	・機会が少ないが少し実施できた。 ・町内会や学校、社協の子どもイベントには参加・交流できた。今後さらに参加したい。	
	33 （自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	6	・まだ実施できていない。 ・常に連絡を取り合い、共有している。	・全体の家族では参加されない保護者もおられるため、家族ごとの実施は可能と考えられるので企画をしたい。
	34 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	6	0	・常に連絡を取り合い、共有している。	
	35 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	0	6	・まだ実施できていない。 ・家族向けの支援プログラムを作成し実施したい。	
支援	36 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	6	0	・入所時、丁寧に説明している。	
	37 放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	6	0	・保護者様に療育要望を取り入れ作成している。	
	38 「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	6	0	・作成後は説明し承していただいている。	
	39 家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	6	0	・常に連絡を取り合い、随時、相談も受けている。	

保護者への説明等	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	0	6	・まだ実施できていない。 ・個人情報等もあるが保護者同士の交流の場として開催したい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	6	0	・常に連絡を取り合い、随時、相談も受けている。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	6	0	・毎月のお知らせや行事等で発信している。 ・HPを開設していないので、現在作成中。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	6	0	・定期的に個人情報等のコンプライアンスについての研修を実施している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	6	0	・特徴のある行動を理解することや、伝えるために見えるかするなど工夫をしている。
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	6	0	・その地域での事業所内容明確化。 ・地域こども交通安全での連携。 ・見学等は実施できているが、まだ招待するような行事を実施していないので企画したい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	6	0	・事業所内にて策定と訓練実施(毎年)と報告。 ・契約時や面談時、その他連絡におけるご家族様へのお知らせ発信。 ・職員と利用者様との訓練実施と報告。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	6	0	・全職員の確認と理解。 ・防災品(用具含む)の確認と点検。 ・避難、救出訓練と経路確認、連絡網の確認実施。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	6	0	・事業所からのお知らせ連絡(毎月)。 ・活動前の各利用者様へのご確認連絡。 ・全職員への共有と知識理解。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	6	0	・ご家族様側との連携がとれている(日々中)。 ・契約時からの対策と対応を継続できている点。 ・成長に変化がある場合でも継続。 ・新情報とマニュアルの再確認を行う。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	6	0	・危険予知訓練やリスクアセスメントを取り入れ実施している。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	6	0	・契約時の相談と対策、同意。 ・ご家族様側と常に情報共有並びに改善対策へ。 ・ご家族様との連携。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	6	0	・毎年確認と共有。 ・ヒヤリハットが起こる前の危険予知と対策。 ・事業所内と外での事前対策(確認と共有)。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	6	0	・講習会参加への適切対応。 ・全職員への資料会議など。
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	6	0	・契約時における事細かな説明。 ・契約書記載 ・保護者からの同意を得ている点(要望もむ)。 ・全職員への説明と理解確認。